

事業所名 アイビー米子教室

公表日：2026年3月31日

●利用児童数：25名 ●回収数13件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2	0	0	「専門的なことはわかりませんが、もう少し広くてもいいのかな、とは思いますが。広すぎるとまた困ることもあるのかなあとは思いますが。柱が無い方がいいのかなとも思います。」	活動スペースについて、率直なご意見をいただきありがとうございます。建物の構造上、柱の撤去や空間の大幅な拡張は難しい部分もございますが、子どもたちが安全に、のびのびと身体を動かせるよう、活動内容に応じたレイアウトの工夫や動線の見直しを継続して行い、より活動しやすい環境づくりに努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	4	0		「いいえ」の件数4件について、一部「適切ではない」と不安を感じさせてしまっている現状を真摯に受け止めます。事業所としては人員配置基準を満たして運営しておりますが、時間帯（特に送迎や活動の切り替え時）によってスタッフの動きに余裕がないように見えてしまっている可能性があります。今後は、スタッフの動線や業務分担を改めて見直しを実施します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	3	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	1	0	「ごちゃごちゃしておらず清潔感あると思います」	環境面をご評価いただきありがとうございます。今後も子どもたちが集中して心地よく過ごせるよう、日々の清掃や整理整頓を徹底し、清潔な環境の維持に努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	2	0	「子供の身体の使い方のクセや改善点などを指摘してもらえ運動療育時間で経過を見てしっかり伝えてくれます」 「困り事に対し、自宅でも実践できそうな運動方法などを一緒に考えてくださり感謝しています。」	スタッフの専門性やアドバイスにご満足いただけて大変嬉しく思います。引き続き、お子様一人ひとりの特性や課題に寄り添い、ご家庭とも連携しながら、ご自宅でも実践しやすい具体的な専門的なアドバイスをご提案できるよう、スタッフ一同研鑽に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	2	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	4	0		「いいえ」の件数4件について、一部厳しい評価をいただいたと認識しております。今後は、計画作成時のヒアリングをより丁寧に行い、「事業所でどのような支援をするか（本人支援）」「ご家庭とどう連携していくか（家族支援）」「将来に向けて今何を取り組むか（移行支援）」の3本柱を明確にします。また、専門用語を避け、日々の活動（運動プログラム等）がどの目標に繋がっているのか、保護者様が納得できる具体的な計画づくりと丁寧な説明を徹底いたします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	1	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	2	0	「毎週異なるプログラムを組んでいて、子どもが飽きることなく取り組むことができる。」 「月ごと週ごとでメニューが変わっているので、子ども飽きずに楽しめていると思います。」 「週ごとに活動を変えていて親が見ていると楽しそう」 「毎日新鮮さを感じるような道具の配置や内容で子供が飽きず、楽しんで利用させていただいています。」 「工夫されていると思います。」 「固定化されている気がする」	「飽きずに楽しめる」とプログラムの多様性について多くのお褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。一方で「固定化されている気がする」というご意見も真摯に受け止めております。実際は週・月単位で活動内容や各種課題の難易度の変化を持たせておりますが、今後はそのプログラムの「ねらい」を、サービス提供記録やSNS等でより分かりやすくお伝えする工夫を図ってまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	1	5		現状、事業所内での療育活動を中心としているため、外部機関や地域社会との直接的な交流機会を十分に提供できていない点をご指摘いただいたと受け止めております。安全面への配慮を最優先しつつも、今後は近隣の公園を利用する際の地域の方々との関わりや、可能な範囲で地域イベントへの参加、関係機関との連携方法について検討を進め、子どもたちの社会性を広げる機会の創出に努めてまいります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	1	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	1	3	「研修会などは無いがミニ療育運動会を開催してもらい普段の療育活動内容や子供の様子を知ることが出来ました」	運動会・保護者会を通じて、普段の活動内容やお子様の様子を直接お伝えできたこと、嬉しく思います。今後も定期的に保護者会といった情報提供・共有の機会だけでなく、運動会のような保護者様が実際に見て、参加できる実践的なイベント等も通じて、支援の機会を充実させてまいります。 一方で、「運動会」等の実践的な場は好評いただいておりますが、座学形式の「研修会」や専門的な「ペアレント・トレーニング」といった明確なプログラムの実施が不足しているとの認識を持たれている結果と受け止めております。今後は、お子様の様子を見ていただける行事の継続に加え、ご家庭での関わり方のヒントとなるようなテーマ（発達特性や運動遊びの工夫など）での気軽な勉強会や、情報提供のお便りの充実等、ご家族をサポートする取り組みを検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12	0	1	0	「子供の帰宅時に支援員さんが家での子供の様子や何か変わったことなど無いが確認してくれるので何かあれば話しやすいと思います」	ご家庭との連携体制をご評価いただきありがとうございます。今後も送迎時や日々の連絡を通じて、些細なことでも気軽に話し合いいただける関係性を築き、お子様の状況を細やかに共有してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	0		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士との交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	4	4	「保護者同士の座談会で色々ヒントを頂きました」	座談会が子育てのヒントを得る有意義な場となったこと、何よりです。同じ悩みを持つ保護者様同士が情報交換し、共感し合える場は非常に重要であると考えております。今後も定期的に交流の機会を企画・開催してまいります。「きょうだい支援」という観点での取り組みが不足していることが、「いいえ」「わからない」というご回答に繋がったと分析しております。今後は、保護者様同士が交流できる座談会等の定期的な開催に加え、きょうだいも一緒に楽しめるイベントの企画など、ご家族全体が安心できるような支援の形を模索してまいります。	
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	2	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	0	「普段の活動の様子に加え、インスタでも様子が見られて、活動状況が分かって嬉しいです。」	SNSでの発信をご覧いただきありがとうございます。今後もInstagram等を通じて、日々の活動の様子を視覚的にも分かりやすく定期的にお届けまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	5	0		「いいえ」の件数5件について、各種マニュアルの周知不足により、ご心配をおかけしております。万が一の事態に備えたマニュアルは策定しており、サイト上にも掲載がありますが、保護者様へのご説明や共有が不十分でした。今後は日々の連絡やSNS等を通じて定期的に周知を行い、安全対策への取り組みを透明化いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	8	0		「いいえ」の件数8件について、情報共有の不足を深く反省しております。子どもたちの命を守るための避難・救出訓練は法令に基づき実施しておりますが、その状況が保護者様に届いておりませんでした。今後は訓練実施後にサイトやSNS等で「どのような想定で、どのように避難したか」を必ずご報告し、安心してお子様をお預けいただけるよう努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	1	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	2	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	2	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	2	0	「とても楽しみに喜んで通所しております！ 「毎週とても楽しみにしています。先生やお友達にも会えて、保育園以外での交流が嬉しいようです。」	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	1	0	「保育園以外のお友達ができたり、小集団の活動で少しずつ他者との関わりができるようになって成長がみられてうれしいです。また、身体を動かすのが好きなので毎回楽しみにして通っています。他の療育で、体幹がしっかりしてきた、と言われて通わせて良かったと思いました。」 「以前は、うまく出来ない事があると、すごく落ち込んでいて、もうやりたくないと思っていたが、どうやったら出来るようになるか、もう一回やってみようかな、と捉えられる風が変わってきました！」 「初めはいろいろなことが怖くてできないことも多かったですが、体の使い方を覚えて、たくさんできることが増えて自信もついてきているように思います。」 「アイビーさんでもとても良い刺激を受け、楽しんで通えています。しっかり体を動かすことで発散されるものもあるようで、家の中で大きな声を出すことが減ったように感じます。」 「普段からすくずくになってしまっていたのですが、大分体幹がしっかりしてきました。園での運動もアイビーで運動しているのが自信になっているのか、前向きに真剣に取り組めるようになったようでビックリです！」 「自宅に送ってくださるスタッフの方が同じ場合が多いので、スタッフの方とも話ができるよう送迎の担当を定期的に変えてもらえるといいなと思います。」	【成長への支援について】 運動を通じた「身体機能の向上」や「できることの増加」が、お子様たちの自信や精神的な成長（諦めない心、他者との関わり、感情のコントロール等）にしっかりと繋がっているご報告を多数いただき、スタッフ一同大変感謝しております。今後も「できた！」という成功体験を大切に支援を継続してまいります。 【送迎体制について】 送迎スタッフの固定化に関する貴重なご要望をありがとうございます。スケジュールやルートの都合もございますが、今後は可能な限り担当スタッフのローテーションを行い、より多くのスタッフが保護者様と直接コミュニケーションを取れるよう、体制を工夫・調整してまいります。